

芽室高校ダンス部を講師として 全校児童が楽しんだ

「芽小ダンス イベント」



1 活動名 「芽小ダンス イベント」

2 日 時 令和7年12月26日 金曜日
3校時 (11:00~11:20)

3 場 所 芽室小学校 体育館

4 講師や協力機関 - 芽室高等学校ダンス部

5 参加者 児童(生徒) 521名 教職員52名 学校運営協議会委員1名
保護者5名 ダンス部13名 合計592名

6 内 容

(1) 目的

◎学校を異世代の方々が集う場とすること。

◎ダンスイベントのような楽しい活動を体験させることで、冬休みや3学期をワクワクした気持ちで過ごすことができるようにすること。

(2) 内容

最近のヒット曲など身近な音楽で、洗練されたダンスを披露していただいた。素晴らしいダンスの鑑賞後、高校生の「一緒に踊ろう」という呼びかけで、小学生が大好きな曲のダンスを教えてもらい元気いっぱい踊った。会場は盛り上がり、みんな一体となれた瞬間だった。

(3) 感想

- 高校生のダンスが上手くて感動しました。(5年生児童)
- 高校生のみなさんとダンスが踊れて楽しい時間でした。(6年生児童)
- 小学生と一緒に楽しく踊ってもらうために、レクチャーのシミュレーションをして本番に臨みました。思った以上にみんな元気よく楽しそうに踊ってくれたのでうれしかったです。先生達も踊っていてびっくりしました。

(芽室高校ダンス部員)

(4) 評価

- ダンスイベント後のアンケートでは、「すごく楽しかった」「楽しかった」という肯定的な評価が100%となった。(回収率約53%)



7 まとめ

(1) 成果

- ①本物のダンスに触れる良い機会であり、高校生と一緒に踊ることで、会場が一体となって盛り上がる事ができた。町内の高校生と触れ合えたことが子どもたちのよい刺激となった。

(2) 課題

- ①今後も学校運営協議会の熟議を生かした活動を行い、持続可能な取組にすることが課題である。

芽室小学校 学校運営協議会

会 長 柴田 真二 副会長 岩野 真志

委 員 太田 久恵 佐藤 道子 高桑 衣佳 丸 義太郎 正岡 崇 塩田 直之
新町 洋行 福澤 知浩 酒井 正明 東海林千景 松木 秀英 松井 孝之

教えて先輩！

全国チャンピオンから学ぶGB体験



1 活動名
「“語る”南小スタイル
～ゲートボール体験～」

2 日時 令和7年12月19日 金曜日
3・4校時（10：35～12：15）

3 場所 芽室町健康プラザ

4 講師 GBチーム マチルダKING

中野 行さん（3年：卒業生）浮田春翔さん（3年：卒業生）

高橋大翔さん（3年：卒業生）照井佑汰さん（3年）三村奏斗さん（1年）

5 参加者 児童 35名 教職員6名 学校運営協議会委員6名 合計47名

6 内容

(1) 目的

◎芽室町とゆかりのある方との交流や活動を通して地域への理解を深め、地域社会の一員として自覚や誇りを育む。

◎社会との関わりについて知り、自分の将来について考える一助とする。

(2) 内容

①ゲートボールのルール説明・練習・体験

(3) 感想

・ゲートボールは、高齢の人でもできることを実感して、はば広いスポーツだと思いました。（5年生児童）

・ゲートボールを教えてくれる高校生がわかりやすくてすぐにできるようになりました。初めてゲートボールをやったけど、とても楽しかったです。（6年生児童）

・地元発祥の競技である事や、南小の卒業生を中心としているチームが全国制覇を複数回していて、そのメンバーを講師として迎える事ができ、児童が総じて楽しそうに出来ていた事がよかった。（学校運営協議会委員）

(4) 評価

○児童：ゲートボールが芽室発祥だと知っていた 94.1%
ゲートボールをまたやってみたい 97.1%

○協議委員：ねらいは達成できた（ほぼ含む） 100%
ゲートボール体験学習は有意義だった 100%

7 まとめ

(1) 成果

①芽室町発祥であるゲートボールを体験することで、地域社会の一員として考える機会となった

②地元の高校生、しかも本校の卒業生はロールモデルとして最適であり、キャリア形成に役立った

(2) 課題

①今回のゲートボールのような地域素材をテーマにした活動を継続的にどのように構築していくか

②より充実した学習機会とするため、運営協議会の活動と教育課程の関連付けを深める必要がある



芽室南小学校 学校運営協議会

会長 北本 英彦 副会長 北川 達也

委員 後藤 康貴 高田 昌樹 武藤 雅紘 浮田 久恵 谷口 智則 高桑 衣佳

中村 浩幸 佐藤 真啓 本間みちる 渡辺 素子

ユメミル 芽中!



1 活動名

「夢講話」(めむろ郷育・夢育推進事業)

2 日時 令和7年11月20日 木曜日
5～6校時(13:25～15:15)

3 場所 芽室中学校 体育館

4 講師や協力機関など

折茂 武彦 氏(株式会社レバंगा北海道代表取締役社長)

鈴木 靖 氏(一般社団法人北海道オール・オリンピックズGM)

5 参加者 生徒 321名、児童 183名、教職員 38名、学校運営協議会委員 2名
教育コーディネーター 1名、学校支援ボランティア 2名 合計 547名

6 内容

(1) 目的

◎生涯をかけての理想や目標をもつことが、日々の生活を充実させることにつながることに気付かせる。

◎成長とともに大人に近づいていることを実感すること、自らの将来を展望することを通して、学ぶ意味や自分の将来、人生について考えさせる。

◎郷土(ふるさと)の大切さ、すばらしさに気付かせる。

(2) 内容

①「行動・挑戦・継続」により夢や目標をもつことの大切さを学ぶ機会となった。

② 折茂氏と鈴木氏からは挫折や失敗、敗北したときに自分が考えて、工夫して、実行し続けること。その努力ができる人が夢を叶えることができると熱く語ってくださった。

③ 本当の失敗には価値がある。ポジティブシンキングで努力を惜しみなく続けてほしいと伝えていただいた。

(3) 感想

○人生の先輩として心強い言葉から色々学ぶことができました。

○諦めないことの大切さを改めて感じました。(生徒より)

○年をとってもやらなくちゃいけないこと。何か行動を起こさなければと。沢山寝て元気にやっていきたいと思いました

(学校運営協議会委員より)

(4) 評価

○子供たちが著名なアスリートから、夢や目標をもつことの大切さを学ぶことで本活動の趣旨に沿った学びとなった。また校区小学生(高学年)と共に学ぶことで芽室中エリア学園の「目指す15の姿」である『夢に向かい、挑戦し続ける子ども』を育むきっかけの場となった。

☆複数の方から本学習の評価を伺ったところ、全員から満点をいただくことができた。

7 まとめ

(1) 成果

①著名人の経験に基づいた教えから、今の子供たちに必要な学びが随所にあった。芽室中エリア学園として共に学ぶことができたことは大きな一歩である。

②講演だけでなく、子供たちの質問コーナーや実技の体験がありとてもよかった。

(2) 課題

①今年度のように子供たちの心に響くメッセージを次年度も継続することができるかが課題である。



芽室中学校 学校運営協議会

会長 武藤 健護 副会長 白川 諭

委員 土屋 直道 陰元 正二 芦澤 右史 四方 孝明 島影由里香 今村 江穂 高桑 衣佳

新倉 忠司 大橋 一博 三井田 創 大原 卓也 石川 大祐 樽松 正人

地域とのつながりが広がる

「西小交流まつり」



1 活動名

「西小交流まつり」

2 日 時 令和7年12月12日 金曜日

1～3校時（8：40～11：30）

3 場 所 芽室西小学校 会議室他

4 講師や協力機関など

めむろ郷育・夢育応援団員

5 参加者 児童（生徒）304名 学校運営協議会委員5名

教職員34名 学校支援ボランティア3名
合計346名

6 内 容

(1) 目的

◎全児童との交流を深めるための「西小交流まつり」への参加協力・・・熟議の中で、委員と児童と交流する機会をもつことで学校運営や児童への理解を広げたいという意見・要望から

(2) 内容

①「昔遊びコーナー」の設置、交流

3年生以上の各クラスが店作りをするように、学校運営協議会として出店し、児童と交流する。（けん玉、お手玉、おはじき、こま回し、輪投げ、めんこ）

②西小交流まつりへの参加

児童が出店したところへ回り、参加して交流を深める。

③児童との交流、誘導

どこに行くか迷っている児童等へ声をかけ、一緒に参加する。

(3) 感想

- 教えてもらったり一緒にやったりしていろいろな遊びができてよかった。（5年生児童）
- 子どもたちと交流することで学校での様子を知ることができた。（学校運営協議会委員）
- 昔遊びを教えるというより、自分も挑戦して一緒に楽しむことができた。（学校支援ボランティア）

(4) 評価

- 児童と交流する良い機会となった。 100%（参加者）
- 来年度も機会があれば参加したい。 100%（参加者）

7 まとめ

(1) 成果

- ①あいさつ運動だけでなく、学校内で児童と交流する機会をつくることができた。
- ②学校運営協議委員や学校支援ボランティアの委員同士の交流の機会となった。

(2) 課題

- ①スムーズな活動のために、準備や分担など、打合せをより密にする必要がある。
- ②様々な場面で学校運営協議会委員やボランティアの参加ができる場面を作っていきたい。



芽室西小学校 学校運営協議会

会 長 千葉 和範 副会長 中田 利隆

委 員 岡田 幸造 高橋美由紀 石原美奈子 寺町 智彦 南館 直人 佐藤 良諭
吾妻 昌三 野村 真実 角屋 充洋 高桑 衣佳

「まちづくり」の最前線を学ぶ



1 活動名 「芽室町を知る・模擬投票」

2 日 時 令和7年11月18日 火曜日
2～4校時(9:50～12:40)

3 場 所 公民館・役場

4 協力機関など
役場のみなさま・町議会議員のみなさま

5 参加者 児童(生徒)49名 教職員5名 学校運営協議会委員2名
教育委員 1名 教育コーディネーター 1名 合計58名

6 内容

(1) 目的

- ◎実際に役場の各部署や議場という「まちづくりの最前線」に身を置くことで、行政の仕組みを肌で感じ、自分たちの暮らしと公的サービスとのつながりを学ぶ。
- ◎「芽室町の明日を自分たちの手で選ぶプロセス」であることを学び、生徒一人ひとりが『自分もまちづくりの一翼を担っている』という自覚を持ち、将来にわたって芽室町に貢献し、主体的に社会に参画する資質・能力を養うことを学ぶ。

(2) 内容

- ①選挙についての説明を受け、模擬投票を行う。
- ②役場見学・仕事について説明を受ける。
- ③芽室町議会について町議から説明を受ける。

(3) 感想

- ・それぞれのフロアがどんなことで使われているのかを理解することができた。また議会の議場も見せてもらうことができて、地方自治のイメージを深めることができた。
- ・どうやって投票しているのか、役場方々は何をしているのか等、知りたいと思ったことがわかった。どの人もわかりやすく説明してくれて役場や選挙の理解が深まった。

(4) 評価(4段階)

満足度 3.93(役場) 3.85(模擬選挙)

7 まとめ

(1) 成果

- ①模擬投票を行うことができた。
- ②役場職員(現場の声)の説明を聞くことで、これまで得た知識が「自分たちの住む街を動かす生きた仕組み」へと昇華された。

(2) 課題

- ①生徒の町政に対する関心度について、見学・投票の前後でどのように変化したのかを数値や記述で記録し、CS委員会や地域へフィードバックする仕組みが必要である。



芽室西中学校 学校運営協議会

会 長 棚田 英和

委 員 岩井 和彦 入口 吉貴 平岡 早苗 藤原美紀子 望月 直子

乙戸 貴宏 加納 孝義 神藏 葉子 大橋 裕一

地域との連携・協働による防災対策 「上美生地区総合防災訓練」



活動名

「上美生地区総合防災訓練」

2 日 時 令和7年10月15日 水曜日
3、4校時 (10:43~13:00)

3 場 所 上美生小学校体育館 (主会場)

4 協力機関 芽室町、警察署、消防署、自衛隊、他

5 参加者 小学生31名、中学生23名、教職員23名、学校運営協議会委員12名
芽室町教育委員会8名 学校支援ボランティア1名、自衛隊員14名、
消防関係3名、教育関係者2名、実行委・地域住民59名 合計176名

6 内容

(1) 目的

◎コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を両輪とした取組により、年代に応じた「自助・共助・公助」の役割を知り、地域、学校、保護者、関係機関が連携・協働して災害時の避難所運営を行うことで地域防災力を高め、持続可能な地域づくりにつなげる。

(2) 内容

①「シェイクアウト訓練」

・避難行動の指示を正確に捉え、自分の安全を守る行動をとる。

②「防災教室」

・避難所運営体験活動を通して避難所の機能を理解し、緊急時における「自助・共助・公助」の役割を知る。

(3) 感想

・防災訓練で一番楽しかったのは体験教室で、応急処置の仕方やダンボールベッドの組み立て方を知ることができた良かったです。(小学生)

・防災教室のスタンプラリーは、かなり盛り上がったので、もっと時間をとって体験を増やしたらいいと思います。(中学生)

・とても有意義な訓練をありがとうございました。小、中学生と地域の人々が、共に協力して成り立つ訓練だと思えました。(地域住民)

(4) 評価

・評価項目「地域防災力は高まったと思いますか。」について、「とても高まった」や「高まった」の回答が、94%という結果であった。



7 まとめ

(1) 成果

①上美生地域住民が連携・協働して災害(地震)時の避難の仕方について実践力を高めた。

②防災教室について、参加者がより多く体験出来るように工夫し、学びを深めることができた。

(2) 課題

①より良い避難方法や避難所運営について組織体制を含め一層の検討が必要である。

②より多くの防災教室が体験できるような時間の設定が必要である。

上美生小、中学校 学校運営協議会

会長 北密 大士 副会長 川端 数昭

委員 河口 啓明 斉藤 直裕 横山 泰平 蒲生 洋 大河内崇宏 高橋 圭輔 蘆田 千秋

吉野 牧子 岡崎榮太郎 吉藤 清孝 和田秀治 横山 修司 奥谷 直樹 三寺 康裕

吉岡 謙作 中山 隆